

さくら ほっと NEWS

特集

▶ 喜谷記念がん治療センター 開院

がん治療の新しい施設が誕生しました！

P. 2・3

医療費のハナシ

▶ 「限度額適用認定証」が外来診療でも利用できます。

東棟「喜谷記念がん治療センター」(手前)と
病棟・中央診療棟

お知らせ

▶ 専門看護師・認定看護師の紹介

ーがん看護専門看護師・がん化学療法看護認定看護師

P. 4

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

名古屋市立大学病院

患者さんの権利等

患者さんの権利

良質の医療を受ける権利
情報を知る権利
選択の自由の権利
自己決定の権利
機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。

患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分にわかりやすい説明を受けることができます。

患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。

患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。

患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報厳正に保護されます。

患者さんの責務

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 医療費の自己負担分は必ずお支払いください。

お願い

- 大学病院として、医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

vol.20
2012年4月

喜谷記念がん治療センター 開院 がん治療の新しい施設が誕生しました！

社会の高齢化に伴い、がん患者さんは年々増え続けています。名古屋市立大学病院は、高度な診断や様々な先端治療を併用する集学的な治療を行い、今後の医療の発展に寄与するため、東棟「喜谷記念がん治療センター」を整備しました。



主な設備



トモセラピー

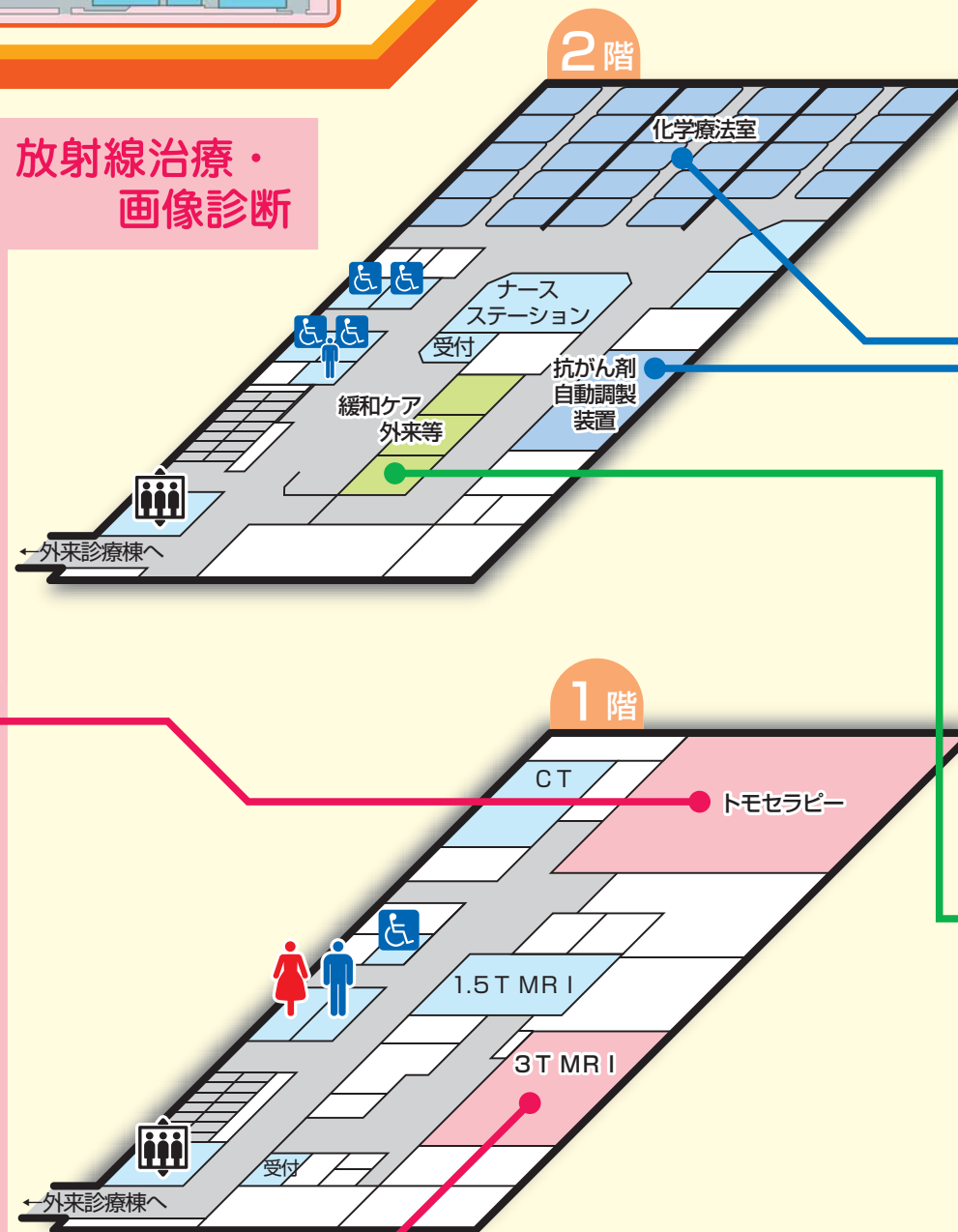
トモセラピーとは、コンピューター断層撮影機能（CT）とがんの病巣に放射線を照射する放射線治療の機能を有する機器です。この機器は、様々な方向からがん放射線を照射することで、十分な放射線量がんにあてることができ、正常組織にあたる放射線量を少なくするようにしています。また、CT撮影機能を一体化させることにより、小さながん病巣へのピンポイントの照射や複雑ながん病巣、複数の病巣への照射も可能となります。トモセラピーについては特に頭頸部がんの治療に効果が期待されています。



3T(3テスラ)MRI

MR Iとは、磁力を用いて体内などの画像を撮影する装置です。「テスラ」とは、磁力の大きさの国際単位で、基本的にはその数値が大きいほど高精細な画像を得ることができます。従来、当院では1.5TのMR Iが稼動していましたが、3T MR Iの導入により、より高画質な撮影を行うことができ、より正確な診断ができるほか、パーキンソン病など神経疾患の診断にも活用することができます。

放射線治療・画像診断



化学療法

これまで外来診療棟で実施していた化学療法を、東棟の2階で実施します。

化学療法を受けていただくベッドとリクライニング・チェアが11台から30台に増え、より多くの患者さんに抗がん剤治療を受けていただけるようになりました。



化学療法室

抗がん剤は、がん細胞だけでなく正常な細胞にとっても毒性があります。そのため調製の際には、抗がん剤を吸い込んだり、皮膚に付いたりしないよう注意する必要があります。

国内で3台目、西日本では初の導入となるこの装置は、外部と完全に隔離したエリアで抗がん剤の調製を自動で行います。患者さんに投与する抗がん剤を、「清潔な環境で」「調製をする薬剤師への影響無しに」「人為的なミス防止して」調製することが可能となります。



抗がん剤自動調製装置

これまで外来診療棟で実施していた緩和ケア外来を、東棟2階で行います。

緩和ケア外来は、がん患者さんやそのご家族の苦痛を緩和し、よりよい療養生活を送っていただけるように支援することを目的に設置しております。



緩和ケア外来

緩和ケア

医療費のハナシ

「限度額適用認定証」が外来診療でも利用できます。

「限度額適用認定証」を医療機関に提示することで、窓口での支払い金額が下表の自己負担限度額までとなる制度が平成24年4月から外来診療でも実施されております。

入院中の方や、今後入院が決まっている方はもちろん、外来通院している方で月々の医療費が高額になっている方も「限度額適用認定証」の申請をしましょう。

国民健康保険の方は市区町村役場に、全国健康保険協会の方は全国健康保険協会各支部に、共済または組合保険の場合はお勤め先の担当部署に所定の申請書を提出して下さい。申請後、受け取られた「限度額適用認定証」は、外来受付月の最初の受診日にご提示ください。提示されないと適用されません。なお、健康保険適用外の費用については対象となりません。

※70歳以上で世帯所得が「現役並み」及び「一般」の方は、高齢受給者証または後期高齢者被保険者証のご提示のみで自己負担限度額まで減額されますので、特別な手続きは必要ありません。「低所得Ⅱ」及び「低所得Ⅰ」に該当する方は、食事療養費の自己負担額が減額される「標準負担額限度額認定証」の交付を保険者から受け、ご提示下さい。

世帯の所得	自己負担限度額
上位所得の方	150,000 円 + (総医療費* - 500,000 円) × 1%
一般の方	80,100 円 + (総医療費* - 267,000 円) × 1%
低所得の方	35,400 円

※総医療費＝診療点数×10円

お問合せ先

病棟・中央診療棟 1 階医事課
(平日午前 8 時 30 分から午後 5 時まで)

お知らせ Information

専門看護師・認定看護師の紹介ーがん看護専門看護師・がん化学療法看護認定看護師

現在の日本ではがん患者さんは年々増えており国民病と言われています。近年、医療が進歩してきており、がんにかかっても仕事や家庭生活・趣味などの社会生活を送りながら、治療を受けられる時代になってきました。

当院にはがん看護専門看護師やがん化学療法看護認定看護師がおります。がん看護専門看護師は、患者さんやご家族により良い看護が提供できるためのがん分野全体の知識や技術を深めた看護師です。がん化学療法看護認定看護師は、がん化学療法薬の安全な投与管理や副作用の緩和、生活支援などをするスペシャリストです。

最近では入院して行う化学療法と違い外来治療に移行する患者さんが増えています。外来治療では自宅で普段通りの生活や仕事ができますが、その一方、患者さんは副作用に気をつけながら体調を管理していく必要があります。

化学療法室では、自宅で副作用症状が出現した時に患者さんが困らないように事前の説明をしたり、治療中の患者さんの安全を守ったり、副作用に対するご相談に乗り、治療・症状への疑問にお答えし少しでも安心して治療を受けていただけるように取り組んでいます。



右：佐橋 朋代 主任
(がん看護専門看護師)
左：成瀬 久美 主任
(がん化学療法看護認定看護師)

名古屋市立大学病院

ホームページの検索方法の案内「名古屋市立大学病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードを
ケータイで読み
とると簡単にホーム
ページが見られます。

名古屋市立大学病院さくらっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp まで！